

発行所

氷川神社社務所

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南4-44-19

電話 03-3314-4147

FAX 03-3315-0034

https://koenji-hikawa.com/

発行責任者
松井 美加子



ひなまつり餅つき大会

お目出たいお宮のお餅とお豚汁



餅つき大会の様子(氷川神社境内にて)

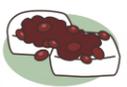
3月3日(日)に毎年恒例の「ひなまつり餅つき大会」が行われました。(於氷川神社境内)
この「ひなまつり餅つき大会」は氏子青年会主催で昭和44年から始まり、現在まで毎年行われており、地域にも根付いている伝統行事であります。朝からお餅を準備し、神様に奉納したのちに、地域の皆様に振舞うものです。

今回は新たな試みとして、お餅に加えて豚汁も振舞うことにしました。食材は地元の小林米店、日あん連、高野青果様、相州屋様から提供して戴きました。主催者の氏子青年会に加えて、「宝扇会」「にんじん」の皆様にも手伝って戴きました。宝扇会の皆様には、お餅の準備や接客をして戴き、にんじんの皆様には、豚汁を作って戴きました。事前に関係者で神社に集まり、打合せを進めてきたこともあり、連携よく手際よく作業を進めることができました。当日は朝から肌寒く雨天となりましたが「恵みの雨」「記憶に残る日になる」と皆で声を掛け合いました。出来上がったお餅を氏神様に奉納して、関係者全員で祈願しました。

雨天にも関わらず開始時間になる前から多くの人であつという間に境内は賑やかになり、また杉並第四小学校の天鼓隊が神楽殿で太鼓演奏を披露し、盛り上がりしました。またベীগマや手品など子供向けのコーナーも設け、子供たちも楽しんでました。また日頃から神社の活動にご協力を戴いている方々も非常に多くお越し戴きました。

関係者全員の尽力もあり、大きな事故なく無事に終了することができました。終了後は氏子青年会、宝扇会、にんじんの皆様で打ち上げを行い、労をねぎらいました。

昭和に始まったこの餅つき大会ですが、今回は平成最後のものとなりました。来年以降も皆様に集まって戴けるものにしていきたいと思います。



餅つき大会の様子 ~1~

◆準備(前日)

ひな祭り前日には氏子青年会の方々が集まり、各種準備に取り掛かりました。小林米店から提供戴いたもち米(60kg)の下ごしらえから始まり、奉納者掲示板の設置、竹を使った四方作りをしました。また昨年までは発電機とボイラーを用いてもち米を炊いていたのですが、老朽化も進んでいたため、今年からプロパンガスを使用することになりました。



奉納者掲示板の設置
もち米のしたごしらえ



四方作り



プロパンガスの点火確認



◆準備当日

ひな祭り当日は朝からあいにくの雨に見舞われましたが、予定通りに神社境内に集合し、準備に取り掛かりました。前日にしたごしらえしたもち米を炊き、豚汁の準備を進めました。炊きあがった餅はすぐに石臼に運ばれ、餅つきが始まりました。一人ずつ掛け声をかけながら餅をつきました。出来上がった餅は宝扇会の皆様が一つ一つ形を整え、あんこを添えて戴きました。また豚汁はにんじんの皆様が手際よく作って戴きました。

雨の中本当に頑張って戴きました



宝扇会の皆様



にんじんの皆様

餅つき大会の様子 ~2~



◆お餅を奉納しての神事

出来上がったお餅をご神前に奉納して、餅つき大会が無事に行われるように参加者で祈願しました



◆天鼓隊による太鼓演奏

杉並第四小学校の天鼓隊による太鼓演奏が行われました。例年は境内で演奏してましたが今年は神楽殿で演奏して戴きました



受付の様子

お餅つきもできるだけ多くの方々に参加して戴、着々と出来上がりました。出来上がった最初のお餅はご神前に奉納して、参加者全員で安全と成功を祈願する神事を行いました。神事後には、豚汁も出来上がり、いよいよ来場者を招き入れ開始となりました。強い雨に見舞われましたが、開始時間前には多くの来場者であつという間に境内は賑やかになり、お餅と豚汁を待つ行列が伸びていきました。



演奏終了後は大広間でお餅と豚汁を頂きました



強い雨の中多くの方々に
お越し戴きました



餅つき大会の様子 ~3~



お餅作りと豚汁作りに絶え間なく奮闘するにんじん(豚汁担当)と宝扇会(お餅担当)の皆様

例年はお餅のみで提供でしたが、今年からは豚汁とセットで提供することになりました。雨天でしたが、次々と来場者がお越しになり、豚汁の食材が切れてしまい、買い足すことになりました。最終的にはお餅は500人分、豚汁は600人分程度の提供することができました。



お餅つきも休むことなく続きました



日頃からお世話になっているご来賓の方々にもお越し戴きました

餅つき大会の様子 ~4~



雨が当たらない場所で子供向けの遊び場スペースも設けました



杉並消防少年団の皆様



◆終了後の打ち上げ

雨天のため、食事するスペースも多く確保できず、来場者にはご不便をおかけすることになりました。一方で「高円寺でこる」の皆様が子供向けの遊び場を設けて、ベーゴマや手品などで子供たちに楽しんでもらいました。
毎年お越し戴いてる杉並消防少年団の皆様も元気な姿を見せてくれました。

準備したお餅と豚汁もあっという間になくなり、餅つき大会は無事に終了となりました。氏子青年会、宝扇会、にんじん、高円寺でこるの皆様も肌寒い中、後片付けまで本当に頑張ってくださいました。すべて終えた後は、社務所内で打ち上げを行い、皆さんで労を労い合いました。例年より参加者も増えて盛り上がりました。

内田浩稔さん(氏子青年会幹事)

今年のひな祭り餅つき大会は、色々な点で新しい事が多かった大会であったと思います。まず豚汁が付いた事、そして有料になった事、お米を炊く道具も新しくなりました。そんな新しい試みのなか冷たい雨が降り、みんな不安がいっぱいだったと思います。でも始まってみると大勢の方々がいらして下さいました、これは以前より増してパンフレットやポスターなどを地道に配った裏方の皆様のお陰だと思えます。そして一番新しいと感じた事は、私が若かった頃、公私共に指導して下さいました先輩方のご息さんが手伝いに加わった事。後世に残す物は有形も大切だけど、伝統、行事など無形文化はもっと大切な事と教えて下さったのも先輩方でした。今度は、私達がこの素晴らしい後輩達に、心に残る指導が出来れば最高の恩返しだと思ったひな祭り餅つき大会でありました。

由井宮太郎さん(氏子青年会会長)

前夜から降り続いた雨が止む気配もなく音を立てておりました。三月は雨が多いと言われますが、今年のひな祭りはまさにそんな一日になりました。

氏子青年会主催のひな祭り餅つき大会は四十年以上続いている行事ですが、今年は大幅に内容を改めて、より多くの人達に喜んでもらえるように工夫をしました。今までは餅を差し上げるだけでしたが、今年からは豚汁や昔遊びコーナーなどを設けました。また重たいボイラーの代わりにプロパンガスを使った蒸し器を用いて軽量化する等、より手間のかからない方法としました。餅つきは新入会員の若手が頑張ってくれて、豚汁は「にんじん」のメンバーの人達10人とあんころ餅を南中央町会の婦人部「高南宝扇会」から15人、昔の子供遊びに5人、アトラクションの天鼓隊が10人と氏子青年会会員が25人で、総勢60人以上の体制となりました。来場者も600人超えとなり、断る人が出るほどでした。

氏子青年会は御代替わりの今年を初めの年として新たな気持ちで神社にご奉仕できればと思っております。氷川神社にいつも人が寄ってくれて、子供たちの賑やかな声が聞こえる、災害の時は、避難所にもなる、そして街で問題が起きれば氷川神社に集まって皆で話し合う、時には宮司さんの助言をもらう、そんな氷川神社になってほしいと願っています。

後継難など色々な問題もありますが、奉仕の気持ちを忘れずに、新しい氏子青年会を造っていきたいと思います。

ご参加された皆様より

ひな祭り餅つき大会参加して

中里勝さん(氏子青年会幹事)

奥田敬三さん(氏子青年会幹事)

今年の「ひな祭り・餅つき大会」は今までと趣向を変え、新しい催しも入れる事とし、その準備に多少戸惑いでしたが、若い会員が頑張っ

て土曜日には準備万端となりました。明るく日曜日は昨日と違って変わって生憎の雨、それでも皆めげる事無くテントを張ったり、最終設営を終えました。今年は新趣向として、400人分の豚汁を作り、皆様に頂いてもらう事で、その作業をボランティア「にんじんの会」(朝倉紀美江代表)の皆様の尽力で行いました。又あんこ餅の作業を「宝扇会」(佐山朝子会長)の皆様の協

力で行いました。雨で心配していた人出は予想を上回る大勢の人が集まり、鼓笛隊の子供達の演奏、消防団の子供達も集まってきました。神社の境内は賑わい、行列も長く連なっています。地域の皆様、総代の皆様、宮司様、禰宜様のご協力の下、平成最後の「ひな祭り・餅つき大会」は大盛況になりました。反省点としては、雨を心配しすぎ、12時開始を早めてしまった事です。豚汁・あんこが思っていた時間より早めに無くなり、折角行列に並んでいた皆様には途中で諦めて帰ってしまった方々がおり

ました。来年度の課題として考えていきたいと思



(右)とん汁を作ったにんじんの皆様に。来年も宜しくお願

「高南宝扇会」

会長・佐山朝子

3月3日桃の節句。一週間くらい前からお天気を気にしてましたが、残念ながら氷雨。氏子青年会の皆様が中心となり、恒例となっているひな祭り餅つき大会が冷たい雨の中で開催されました。

今年はにんじんの会の皆様もご協力戴きまして、豚汁600食も振舞われました。宝扇会も初めての参加でしたが、テントの中とはいえ、外なので冷たい雨の降る中、足底は寒さと冷えでジンジンしました。氏子青年会が搗いたあつあつの搗きたてのお餅を宝扇会の私達全員(15名)の連係プレーでちぎったお餅にあんこを(北海道産のあずき)をたっぷりかけて次から次へと500パック近くを作り、神社に来た皆様に豚汁と共に配られました。今年はアトラクションに杉四小の鼓笛隊クラブの子供達が太鼓演奏を披露して下さった利、昔の伝承遊び(ペーゴマなど)も行われました。12時開始でしたが、11時半過ぎた頃からあっという間に中央公園まで続く行列ができたようでした。私も初めて参加させてもらったのですが、とにかくお餅もあんこも美味しい。又にんじんの会の皆様方が作った豚汁 - ごぼうの香りがきいて冷えた体を心から温めてくれ、手作り味噌の汁がなんともいえないほど、美味しかったです。

「氷川神社の桃の節句」で氏子の皆様や関係者全てのお骨折りのお陰で「お餅と豚汁」を地域の大勢の子供たちに振舞えることができ、地域の大勢の方々に喜んで戴きました。来年もまた美味しい搗きたてのお餅に北海道産のあんこ、手作り味噌の豚汁が楽しみです。

携わった大勢の皆様のおかげで、凍えるような寒い氷雨の日だったにも関わらず、お手伝いした人や神社に来た人たち、みんなホカホカの心になりました。氷川神社はじめ、氏子青年会の皆様、並びに関係者の皆様、本当に有難う御座いました。

前日の3月2日の準備の日は、好天に恵まれました。天気予報では翌日3日は夕方頃から雨とのことでほっとしていました。しかし朝起きたら冷たい雨、いつ止んでくれるのかと思ひながら、当日の準備が始まり、本番を迎えました。結局一日中雨は止まず、一時はお客さんが来てくれるのかと心配になりましたが、終わってみれば、雨にも関わらず子供も大人もたくさん来てくれて大盛況でした。

今回より昨年まで使用していた重たいボイラーの使用をやめて、プロパンガスによる蒸し器に切り替えたので、出来上がり時間、出来上がり具合が心配されましたが、無事に機械をを使いこなすことができほっとしました。又、今回より氏子青年会の案で豚汁を出したことで、お客さんも喜んでもらい、大成功だったと思います。

豚汁を作る人、餅をつく人、餅をちぎり配る人など、献身的なご奉仕のお陰があり、無事に業務を終えることができたと思います。

これも神社様、奉仕者、お客さんの三位一体のお陰でした。

「にんじん」

代表・朝倉紀美江

3月3日の桃の節句に氷川神社で行われました「ひな祭り餅つき大会」に初めて参加させて戴きました。

当日は朝からの雨で皆さん来て下さるか心配してましたが、沢山の皆様に来て戴いてほっとしました。

私たちは中央児童館を中心に、地域の子供たちと一緒にいろいろな活動をしている小さなボランティアグループ「にんじん」です。昭和61年に発足しました。「無理をしないで長いお付き合いを」を合言葉に自由楽しく活動してきました。特に「手作り味噌」が私たちの自慢です。

杉並第八小学校の「高円寺こどもまつり」で手作り味噌のとん汁を30年以上続けてきました。この度、氷川神社の「とん汁作り」に参加させて戴き、本当に感謝しています。これからも「手作り味噌のとん汁」の輪を繋げていかれたら嬉しいです。そして自分たちの生活や楽しみの中にボランティア活動を少しずつ入れながら、自然体で活動出来たら良いと思っています。

ご参加された皆様より

ひな祭り餅つき大会参加して

「天鼓隊」

世話人・平松茂(小杉湯)

杉四小学校太鼓クラブ「天鼓隊」の演奏で始まる今年の高円寺氷川神社氏子青年会主催による餅つき大会は朝からの雨模様にも拘らず行列のできる素晴らしい大会となりました。

天鼓隊は発足2年目をむかえました。平成5年の杉四小学校の新校舎落成のお祝いとして同窓会の呼びかけで地域の方々から太鼓が寄贈され当時の同窓会会長のあずま通りにある林医院の故・林純茂先生が発起人となって発足しました。「太鼓は心でたたくもの、それには礼儀がたいせつ」林先生の教えをモットーに毎週火曜日に杉四小で小池先生の指導で稽古に励んでおります。現在は部員数10名、当日の演奏は卒業生を中心に活動する太鼓クラブMOMOとの共演を含め4曲をお客様に披露させて頂きました。演奏は事前から決まっていた神楽殿を開いて頂き雨の中でも楽しく演奏出来ました。神楽殿を開放して頂いた氷川神社様ならびに氏子青年会様には御礼申し上げます。終了後は搗きたてのお餅と豚汁をご馳走になりありがとうございました。来年もさらに良い演奏が出来る様稽古に励みたいと思いますので宜しくお願い致します。

「高南宝扇会」

役員・中村ちか

3月3日、氷川神社のひな祭り餅つき大会に宝扇会の会員として初めて参加させて頂きました。

生憎の雨でしたが、多くの方々に来て下さいました。寒かったので、あんこかけのつきたてのお餅と、温かい具が沢山入った手作り味噌の豚汁が大好評でした。

寒い中でも並んで下さったお客様の為に一所懸命お手伝いをさせて頂きましたが、寒さの為、体が冷えてしまい、それが大変でした。

これからは若い人達にも協力して戴けたら有難いと思いました。

「高円寺でこる」

上條・佐藤・高橋・瀧澤

私たち「高円寺でこる」は、毎年春に開催される「高円寺びっくり大道芸」において街を彩る装飾アイテムを制作するボランティアの集まりです。高円寺の街や商店、人々が好きな者が揃っており、大道芸以外のイベントにも参加するようになりました。

今回の「ひな祭り餅つき大会」では、来場した子供たちにベーゴマやコマ、メンコ、竹馬といった「昔遊び」を楽しんでもらうブースを担当。ただお餅を食べて帰るのではなく、神社に親んでもらうことを目的としていましたが、あいにくの天候で思い通りの展開ができませんでした。それでも、立ち寄ってくれた子供、親御さんには興味を持ってもらい、慣れない手つきでベーゴマやコマを楽しんでもらえたのは収穫だったと考えております。来年もぜひ参加して、好天の下、懐かしい玩具で大いに盛り上げていただきたいと思います。

「高南宝扇会」

副会長・福井美知子

3月3日、氷川神社の餅つき大会に初めて参加させて頂きました。9時に集合し、雨の様子を見ながらテントも張られ私達の受持ちのあんこ餅も美味しそうに並びましたが、お客様の出足が悪く寒さでお餅が固くなってしまいますので、参拝に見えた若い方々に声をかけたところ気持ちよく買って下さいました。時間が経つにつれて雨も強くなりましたが、どんどん行列ができて、今度はお餅が間に合わなくなり、特に杖をついた高齢の方や小さな子供さんの前でお餅が切れると悲しそうにじっと待っている姿に心が痛み、「寒くないですか？疲れませんか？」と声をかけつつ時間を稼ぎました。お餅ができ、渡したときは満面の笑顔で「有難う御座いました！」と言ってくれました。また若いお兄さん達にも「風邪をひかないでね」と声をかけて下さり、次のお客様からは「お餅も豚汁も温かくて美味しかったけれど、皆さんが雨の中一生懸命奉仕して下さいることに感謝です」と言葉をもらいました。私の濡れた手を取って「有難う」と言って下さった方は笑顔の優しい美しいおば様でした。最近は詐欺や事件の多い世の中ですが、今日のお客様と地域の方々とのふれあいはとっても温かく、素晴らしいお手伝いをさせて頂きましたことを深く感謝しております。

雨が降ってしまったことは、気象の神様のプレゼントでしょうか？初めてのお手伝いでしたが、お餅も豚汁も完売し、お客様の行列も公園まであったと聞き、安心しました。



「杉並消防少年団」

「雨が降ってとても寒いね！」
今年の3月3日は、雨が降り真冬を思わせるとても肌寒い日でした。

私達杉並消防少年団は、例年氷川神社に訪問する前に杉並東ライオンズクラブの皆様と御一緒させて頂き、高円寺駅前の清掃活動をしています。杉並東ライオンズクラブの皆様の暖かいご支援のもと、子供たちも普段より力を発揮し、やる気をもって清掃活動をしております。

清掃活動後、春の火災予防運動に伴い、高円寺駅前南北に分かれて、「火の用心」を呼びかけました。雨が降りしきる中、杉並消防少年団員たちは、一所懸命声掛けをしてたくさんの方に火災予防のチラシを配布しました。

次はいよいよ待ちに待った氷川神社訪問です。氷川神社で頂いた愛情のこもった温かい豚汁と目の前で頂いた出来立てのおもちがそれまで、活動を頑張った少年団員の身体を温めてくれて、今までに味わったことない格別の味でした。自然に子供たちの頬に笑みがこぼれていました。地域の皆様のお役に立つことが出来た喜びも重なって、とても美味しかったです。今後も私達杉並消防少年団は、地域の為に、皆様と一緒に活動を実施していきます。本当にありがとうございました。

ご参加された皆様より

ひな祭り餅つき大会参加して

氷川神社の匠

〜其の六〜

昨年9月より開始した日々の境内清掃は順調に進んでおり、日々神社が清らかに変化していくことを実感しておりますが、それに加えて境内各所や備品などの修復、整備も並行して開始しました。金子さんと山本さんを中心となり、老朽化、損傷したものを丁寧な手作業で修復し、新たな命を吹き込み、また新たなものを作り出してくれています。

今月紹介するのは「神輿庫屋根清掃」です。神輿庫の真上にはイチヨウの大木があり、年末にかけて大量の落ち葉が堆積します。金子さんに屋根に上って戴き、堆積した落ち葉を一掃して戴きました。放っておくと腐葉土となり、根が生えてきて、屋根を浸食し、損傷の原因となるので、大変助かりました。



屋根に上った作業



堆積した大量のイチヨウの落ち葉



大宮八幡宮 氏子青年会の集い

2月24日(日)に「大宮八幡宮氏子青年会」の集いの会(於大宮八幡宮)に参加してきました。

大宮八幡宮は杉並区大宮に位置し、境内の広さは一万五千坪と都内で3番目の広さです。また東京の中央に位置していることから「東京のへそ」とも呼ばれています。

集いの会には、当神社の氏子青年会の方と参加してきました。参加者とは時間の限り交流を深めることができ、とても有意義なものでした。



神社庁杉並区支部常会

3月19日(火)に東京都神社庁杉並区支部常会が開催されました。(於高円寺氷川神社)

支部常会は毎月開催されており、東京都神社庁常会で協議されたことなどを共有するための集まりです。会場は各神社の当番制で3月は当社での開催でした。夕食には地元の抱瓶様をお願いして沖縄料理弁当を準備して戴きました。参加者からも非常に好評でした。



お品書き(右)
夕食の様子(下)



抱瓶の沖縄弁当

気象神社賽銭箱の奉納

この度、「さぬきや(高円寺南4丁目)」の近藤迪弘(みちひろ)様より気象神社の賽銭箱をご奉納戴きました。

旧賽銭箱も近藤迪弘様よりご奉納戴いた(平成20年)ものですが、気象神社の賽銭箱は屋外に設置しているので老朽化が進んでました。新しい賽銭箱はステンレス素材で、色も明るく気象神社の雰囲気により一層明るくなりました。気象神社には日々遠方からも多くの参拝者が訪れていますので、この素晴らしい賽銭箱に負けないように境内整備を進めていきます



近藤迪弘さん(左から)人目 近藤綾子さん(一番左) 近藤康浩さん(一番右)

【高円寺さぬきやについて】

近藤迪弘さんは昭和39年に高円寺南4丁目でうどん屋「さぬきや」を創業され、現在は次男の近藤康弘さんが継がれて、新しい時代に向けて日々奮闘されています。

近年は毎年ミシュランガイドにも掲載されている素晴らしいお店です。お店の詳しい情報は以下URLでご確認ください。

<http://www.koenji-sanukiya.com/>

今回のご奉納にあたり、近藤迪弘様よりおことばを戴きましたので紹介させて戴きます。改めてさぬきやの皆様へ厚く御礼申し上げます。先日、近藤康弘さんから「氷川神社は昨年の代替わり以来、エネルギーになり、なにかやってくれそうだ」というおことばを戴きました。氏子地域を盛り上げる為に引き続き地道に頑張っていきます。



ご奉納戴いた賽銭箱



旧賽銭箱
(平成20年に近藤様よりご奉納されたもの)



さぬきやのうどん

店内の様子



近藤迪弘さんからのおことば

この度は、お賽銭箱を奉納させて戴く名誉に預かりまして、まことに有難う御座います。私が高円寺に居を移したのは、昭和39年5月、27歳の時でした。それまで住んでいた三重県亀山市が伊勢湾台風の突撃を受け、それまでの商いもうまくいなくなってきました。当時、仕事で付き合いのあった知人より、「東京で本場の讃岐うどんを食べられる店はまだない。是非一緒に始めよう。」と誘われ、藁にもすがる思いで、親戚一同にて新しい商いを始める為に、東京で出て参りました。

その後結婚し、昭和39年に長男が生まれ、氷川神社さんにてお宮参りのご祈祷をして戴き、それからのご縁です。息子の健やかなる成長と、二度と天災に見舞われる事なきようにとの祈りを込め、氏子となり、現在に至っております。

息子二人はお陰様で健やかに成長いたしました。当初、東京では珍しい手打ちうどんの店は、なかなか受け入れてもらえませんでした。妻の座右の銘でもある『為せば成る、為さねば成らぬ、何事も』を胸に刻み、夫婦で信念を曲げずに続けておりますと、そのうちに評判となり、お客様に並んで戴けることとなりました。その後も時代の流れも大きく変わり、山あり谷ありでしたが、今は次男が店を継ぎ、ミシュランガイドにも掲載して戴けることとなり、一安心しております。

50年もの長きにわたり、高円寺の地で平和に暮らしてこられたのは、氷川神社さんと地域の皆様のお陰で感謝しております。本当に有難う御座います。これからも宜しく願い申し上げます。

平成31年3月吉日
近藤 迪弘(みちひろ)

★ごうえんじん★
〜第十一話〜

氷川神社の運営に日頃からご協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★ごうえんじん★」は「ごうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉(題名)です。
第十一話は氷川神社総代を務めて戴いている江澤忠行さんです。



えざわ ただゆき
江澤 忠行
高円寺氷川神社総代

「氷川神社と私」

高円寺氷川神社総代を務めさせて戴いている江澤忠行です。私の出身地は千葉県いすみ市山田です。昭和25年6月の18歳の時に上京し、東京池袋にある理容品販売業会社に入社しました。そして昭和35年8月に現在の高円寺北二丁目にて理容品販売業を開業しました。

独立開業当時はひたすら無我夢中で仕事に励んでおりましたが、昭和57年頃だったと思いますが、地元の高円寺北二丁目町会に入会させて戴き、現在に至っております。



総代会の様子
(後列右から4人目が江澤さん)

北二丁目町会の会員になりましてからは、高円寺氷川神社と私の関係は、夏祭りの神酒所作りです。祭壇、神輿太鼓などの飾り付けや襷(たすき)掛けなど、町会役員の皆さんと猛暑の中、大汗をかきながら、神酒所を完成させて祭壇に飾られた鏡、氷川神社の文字が書かれた掛軸を見て清々しい気持ちになり、お祭りを迎えるにあたり、万全だと安堵したものです。間もなく今は亡き先代宮司の山本雅道さんのお祓いを受けて、その後祝詞奏上を戴き、いよいよ午後からは祭り、神輿、山車の町内巡行と続きました。子供たちの嬉々とした喜びの様子を見て、かれこれ37年になりましたが、こうした中、氷川神社社報の新年年頭の御挨拶にありましたように、昨年先代宮司の山本雅道さんが帰幽されました。宮司さん、職員さんも変わり新たな時代に対応すべく一層の御尽力をくださるとのことです。今後とも高円寺氷川神社氏子一同の心よりどころとして愛され、更なる弥栄を祈念いたします。

自己紹介

- 氏名 : 江澤 忠行 (エザワ タダユキ)
- 生年月日 : 昭和7年7月13日
- 出身地 : 千葉県いすみ市
- 血液型 : O型
- 趣味 : カラオケ
- 特技 : 特になし
- 座右の銘 : 継続は力なり
- 高円寺お薦めスポット : 氷川神社
- 一言 : 良い心・強い心・優しい心



町会の方々との旅行にて



夏祭りで町会の方々と



★ こうえんじん ★
〜第十一話〜

氷川神社の運営に日頃からご協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★こうえんじん★」は「こうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉題名です。

第十二話は氷川神社総代(高円寺緑ヶ丘町会会長)を務めて戴いている杉山幸一さんです。



すぎやま こういち
杉山 幸一
高円寺緑ヶ丘町会会長

「昔懐かしい高円寺と氷川神社」

高円寺緑ヶ丘町会の杉山と申します。生まれも育ちも高円寺の南側です。杉並第八小学校、高円寺中学校を卒業しています。高円寺は戦後は空き地がたくさんあり、遊ぶところには困りませんでした。空き地へ行くとき青い大空に凧がたくさん上がっていました。近くの長仙寺や氷川神社によく友達と集まり、遊んだ記憶が残っています。夏のお祭りのときは、氷川神社の縁日に行くことが唯一の楽しみでした。大人になり、仕事は都心部でしたが、学生時代の友人との集まりは必ず高円寺でした！お店にふらりと顔を出しても、同級生や

先輩や後輩たちにもいつでも会える私のふるさとと言える大好きな町です。子供たちも杉並第八小学校、高円寺中学校に通い、この高円寺で育ちました。夏の阿波踊りに！お祭りに！と一緒に頑張っていました！お祭りに！と一助になるようながら地域活性化の一助になりますように協力をしていきたいと思えます。



夏のお祭り
(前列中央が杉山さん)



町会のパトロール(中央が杉山さん)



町会の旅行にて



鬼怒川で川下りを楽しみました

～神社より～

今月は江澤さんと杉山さんを紹介させていただきました。お二人には神社の総代を務めて戴いており、日頃から大変お世話になっております。江澤さんは上京してからの理容用品販売業時代の苦労充実のお話が印象的でした。杉山さんは根っからの高円寺の方で地元が大好きだと感じました。お二人とも地域に大きな貢献をされているのが改めて知ることができて、とても有難かったです。これからも一人でも多く紹介していきたいのでご協力をお願い申し上げます。

自己紹介

- 氏名 : 杉山 幸一(スギヤマ コウイチ)
- 生年月日 : 昭和16年10月生まれ
- 出身地 : 高円寺
- 血液型 : O型
- 趣味 : 囲碁・ゴルフ
- 特技 : 特になし
- 座右の銘 : 特になし
- 高円寺お薦めスポット : 氷川神社



◆高円寺南地区防災訓練

3月1日(金)に高円寺南地区防災訓練(於長仙寺)に参加してきました。

今年の高円寺南地区の町会・商店会の合同開催となりました。長仙寺に集合して、火災発生時を想定した訓練を行いました。防災訓練は毎年この時期に開催されていますが、来年は当社社境内で開催予定となっております。微力ながらも氏子地域行事のお手伝いをさせて戴ければと思います。



訓練後の総評をされる白鳥消防司令官
(東京消防庁杉並消防署)



閉会のご挨拶をされる河原一さん
(パール商店街振興組合理事長)

◆御朱印窓口

ポールチェーン設置



近年の御朱印ブームもあり、当社社にも連日御朱印を求め多くの参拝者がお越しになられます。週末は鳥居近くまで行列ができることも多々あり、一方で境内に駐車場があり、行列ができた時の安全管理にも励行しています。今般ポールチェーンを設置して、行列の動線を固定化しました。引き続き参拝者が安心してお越しになる環境づくりに努めます。

◆東日本大震災(募金活動)

南相馬市みらい夢基金

3月12日に東日本大震災募金活動に参加しました。(於阿佐ヶ谷駅前)

当社社は主催の杉並区宗教者懇話会に所属しており、参加してきました。当日は暖かく、好天に恵まれました。杉並区の神社の神職も多数集まり、阿佐ヶ谷駅前や広場、商店街入口に立ち、時間の限り大声を出して募金を呼びかけました。

ご挨拶をされる大宮八幡宮の鎌田宮司



阿佐ヶ谷駅前広場には物産展コーナーも設けられたこともあり、多くの来場者がお越しになりました。終了後には参加者全員で記念写真を撮影しました。同様の活動は高円寺駅前でも毎月11日に開催されているので、積極的に参加していきたいと思えます。

お知らせ

うりずん神緑会 (抱瓶グループ)

高円寺で長く沖縄居酒屋を運営されている抱瓶グループの新緑会が下記内容で開催されます。例年は多摩地方のキャンプ場で行っていたようですが、地元で開催したいという高橋社長の御意向もあり、話し続けた結果、今年は当社社境内で開催することになりました。名前も「神緑会」となりました。是非お越しください。



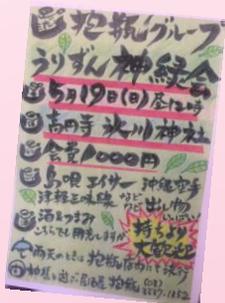
～神緑会～

日時：元年年5月19日(日) 12:00開始
場所：氷川神社境内
会費：1,000円
内容：島唄、エイサー、沖縄空手、津軽三味線など

※雨天時は抱瓶店内で決行

お問い合わせ

抱瓶 03-3337-1352



編集後記

ひかわ157号をお送りしました。平成最後の月となり、平成最後の社報「ひかわ」となりました。先日、米大リーグのイチロー選手が引退したことも一つの時代が終わった象徴のように感じました。当社社も昨年の前宮司の帰幽からの代替わり後は、神社も大きく変わりました。新元号に変わってからも地道にコツコツと毎日やるべきことを継続していくのみです。